



今月のテーマ

和モダンのお花見テーブル

インテリアコーディネーター、食空間プランナーで、日本クラブ・カルチャー講座の講師も務める大石育子さんに月替わりで食卓の演出術を教えていただく連載第3回目のテーマは、お花見です。日本では今週末から来週にかけて桜前線が山形県周辺まで北上の予定。ニューヨークでは今月末からお花見の本番を迎えます。元号が変わる今年は私たち日本人にとって特別な春。感慨をもって桜の花を見る人も多いのではないのでしょうか。

Ikuko x koyori an

このほど、日本で大人気の陶芸作家、「陶房 心和庵」の中里博彦さん・博恒さん、双子のご兄弟の素敵な器と一緒にさまざまなテーブルコーディネートをご紹介するプロジェクトを始めることになりました。博彦さん・博恒さんは来年、ニューヨークで個展を開催する予定です。まずは「Ikuko x koyori an」春のテーブルをお楽しみください。

今回は、藍色の呉須絵の具で桜を描いた磁器と、3月に東京で行われた作陶展で即日完売したという新作の黒い器を使いました。私のテーブルコーディネート、NYスタイルに欠かせない「黒」にもさまざまな色、質感、光沢があります。おふたりが作る器は、お料理をのせると、その美しさがさらに引き立ちます。



陶房 心和庵

弟の中里博恒さんにお話を聞きました。

「陶房 心和庵では、私たちが五感で感じるものを大切にしたいとの思いから全ての工程を手仕事で行なっています。手でこねる土練りから始まり、一つ一つろくろをひき、何度も何度も筆を重ねるといって何百年と続く器づくりの手法を伝承しています。そのため数多くの作品を短時間で作ることはできませんが、そのぶん、一つ一つの作品に気持ちと魂を込めて制作しています。毎日の食卓を豊かにする器、現在のライフスタイルに合う器、互いが互いを引き立て合う、器と料理の関係を考えた器づくりを目指し、これからも1日1日精進してまいります。



Let's Cook!

カゴに入れたお花見弁当を作ってみましょう。デザートにも桜のピンク色を意識して。ピンク色のゼリーをのせたバナナコッタやピンク色のマカロン、パウンドケーキもテーブルが華やかになります。和がテーマなので、抹茶を使ったスイーツや、ほうじ茶プリン、柚子茶などもいいですね。

Let's Try!



桜の花びらを浮かべたウェルカムドリンクはいかがですか？ 緑茶を冷やしてもおいしくできますが、緑茶に似た味わいの、ダーズリンのファーストフラッシュ（春摘み）を水出しにすると、苦味がなくおすすめです。桜の塩漬は必ず塩抜きをしましょう。



今月のOne Pointレッスン 「和モダンとクロスオーバー」

和モダンの基本スタイルは、日本の四季や伝統文化、工芸品などからイメージする色や、穏やかな濁りのある色が中心となります。素材は和紙や石、木などの自然のもの。そして、陶器、漆器、鉄、布ならちりめんなどです。花材

には、桜、稲穂、こけ玉や竹を使うことが多いですね。コーディネートでポイントとなるのは、「間」と「引き算」です。

今回のように、和と洋のものを掛け合わせて使うことを「クロスオーバー」と言います。「和食器は日本に置いてきたので和のコーディネートはできない」と思っている人も多いようですが、洋のものでも和に転用できるものはたくさんあります。また、年末年始号でもご紹介したように、チェック柄のテーブルクロスを合わせたり、折敷がなくともチルウィッチ（Chilewich）のランチョンマットなどで工夫してみるのもまた楽しいものです。



今月のNapkinワーク「扇」

- ①裏を上にしてナプキンを置く。横を8等分にして山谷山谷と交互に折っていく
- ②山が4つできるように折る
- ③真ん中に向かって3分の1のところを山折り、もう3分の1のところを谷折りにする
- ④右が隣になったら左も同じように折る
- ⑤扇の部分を綺麗に開いて出来上がり
- ⑥紐を付ける場合は蝶結びにする



大石育子
インテリアコーディネーター、食空間プランナー、英国式紅茶インストラクター。
食空間プロジェクト(FSPJ)認定サロン、初級ディプロマ発行校 Atelier de Ikuko New York 主宰。東京ドームテーブルウェア・フェスティバル2019 特別審査部門入選。日本クラブ・カルチャー講座講師、マンハッタン区在住。
<http://atelierdeikukony.amebaownd.com/>

5月29日(水)10:30から13:00まで、日本クラブカルチャー講座1dayレッスン「季節のテーブルコーディネート～初夏のアフタヌーンティーテーブル～」を開催します。申し込みは、212-581-2223または culture@nipponclub.org まで。詳細は www.nipponclub.org/culture を参照。